

安全データシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 ウラホルム 20号
 肥料登録番号 生第 77948
 製品名 ホルム窒素 2 モル
 会社名 全国農業協同組合連合会
 担当部署 肥料農業部
 住所 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JALビル33F
 電話番号 03-6271-8285
 Fax 番号 03-5218-2536
 E-mail zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
 緊急連絡先 03-6271-8285
 推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性

皮膚腐食性・刺激性 区分 2
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1
 皮膚感作性 区分 1
 発がん性 区分 2
 生殖毒性 区分 2
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 3 (気道刺激性)
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 2 (肝臓)
 水生環境有害性 (急性有毒性) 区分 3
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険

燃焼、爆発の危険性はない
 皮膚刺激
 重篤な目の損傷
 呼吸器への刺激のおそれ
 アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れ
 発がんのおそれの疑い
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 臓器の障害のおそれ (肝臓)
 飲み込んでも毒性はないが、多量に飲み込んだ場合は、腹痛、嘔吐、下痢を起す恐れがある。
 長期間、高濃度の溶液が眼及び皮膚に接触すると、その組織を破壊する恐れがある。

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 粉じんの吸入を避けること。

取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。
 取扱い後はよく眼を洗うこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 保護手袋を着用すること。
 保護眼鏡、保護面を着用すること。
 環境への放出を避けること。
 汚染された作業着は作業場から出さないこと。

応急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合、直ちに口をすすぐこと。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
 僅かではあるが吸湿性があるため、防湿に注意する。
 施錠して保管すること。
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

保管

廃棄

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名： 尿素・ホルムアルデヒド重縮合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番	
尿素・ホルムアルデヒド重縮合物	～75%～	(CH ₂ NHCONH) _n	7-576		9011-05-6
尿素	～25%～	(NH ₂) ₂ CO	2-1732	公表	57-13-6
トリエタノールアミン	～0.5%～	C ₆ H ₁₅ NO ₃	2-308	公表	102-71-6

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし
 労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
 ・ トリエタノールアミン (法令指定番号：381) (0.5%)

4 応急措置

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合 速やかに、口をすすぐこと。
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

5 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火を行う者の保護	消火作業の際は、保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具（ホースマスク等）を着用するのが望ましい。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 作業者は適切な保護具（『8.ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 作業に際しては適切な防護具を着用し、飛散しない方法で回収する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び 機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。 可燃物（木、紙、油等）は漏洩物から隔離する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	裸火禁止、強力な酸化剤との接触禁止。
安全取扱注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 飲み込みを避けること。 皮膚との接触を避けること。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。 眼との接触を避けること。 取扱後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。 炎、火花、または高温体との接触を避ける。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管すること。
安全な容器包装材料	情報なし

8 ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
尿素・ホルムアルデヒド重縮合物	未設定	未設定	なし
尿素	未設定	未設定	なし
トリエタノールアミン	未設定	未設定	TLV-TWA 5 mg/m ³

設備対策

粉塵が作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、または全体換気を適正に行うことが望ましい。
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

呼吸器保護具を着用すること。

防塵マスク

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

適切な保護衣を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態

白色粉状固体

臭い

極微アンモニア臭

臭いのしきい（閾）値

データなし

pH（10%溶液）

5.2

比重（真比重）

約 1.3

吸湿性

20℃湿度90%の条件 1日後2.67%
2日後3.87%

引火点

なし

発火点

なし

爆発範囲

なし

爆発性

なし

安定性

記載なし

トリエタノールアミンとして

外観

物理的状態

透明液体

臭い

アンモニア臭

pH（10%溶液）

10.5

比重（真比重）

1.1

引火点

179℃

自然発火点

324℃

爆発範囲（下限）

3.6vol%

爆発範囲（上限）

7.2vol%

水への溶解度

1000 g/l

安定性

記載なし

10 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

11 有害性情報

急性毒性	なし
発がん性	記載なし
特定標的臓器 /全身毒性(単回暴露)	情報なし
特定標的臓器 /全身毒性(反復暴露)	情報なし

トリエタノールアミンとして

急性毒性	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	区分 1
感作性	皮膚感作性 区分 1
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器 /全身毒性(単回暴露)	区分 2(肝臓) 区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器 /全身毒性(反復暴露)	情報なし

12 環境影響情報

生態毒性

トリエタノールアミンとして	
水生環境有害性(急性有害性)	区分 3
オゾン層への有害性	データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が行なっている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14 輸送上の注意

国連番号	該当しない。
品名	該当しない。
国際規制	
海上規制情報	特になし。
航空規制情報	特になし。
国内規制	
陸上規制情報	特になし。
海上規制情報	特になし。
航空規制情報	特になし。
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) 作業環境評価基準(法第 65 条の 2 第 1 項)
水質汚濁防止法	有害物質(法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条)
海洋汚染防止法	有害でない物質(施行令別表第 1 の 2) 有害液体物質(Z 類物質)(トリエタノールアミン)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項

16 その他の情報

参考文献

1. 日本産業衛生学会 “許容濃度の勧告” 1992年版 産業医学34巻 1992
2. “国際化学物質安全性カード” 化学工業日報社(1991)
3. “安衛法 化学物質” 化学工業日報社(1989)
4. “化学物質 毒性データ集” 日本メディカルセンター 1971年版
5. 文献検索：DIALOG FILE No. 332 (1998年9月実施)
6. “13398の化学商品” 化学工業日報(1998)
7. “既存化学物質ハンドブック” 化学工業日報社
8. “産業中毒便覧” 医歯薬出版(1987)
9. “化学品別適用法規総覧” 化学工業日報社
10. “米国OSHA 危険有害性の周知基準” 第4版 日本化学物質安全・情報センター
11. “ザックス 危険有害物質データブック” 丸善
12. “催奇形性等発生毒性に関する薬品情報” 第2版 東洋書店

この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者において行ってください。

本SDSは、下記サンアグロ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

供給者の会社名称	サンアグロ株式会社
住所	東京都中央区日本橋本町 1-10-5 日産江戸橋ビル
担当部門	生産技術部
電話番号	03-3510-3610
FAX 番号	03-3273-8432
緊急連絡電話番号	0832-66-1122 (下関工場 製造課)